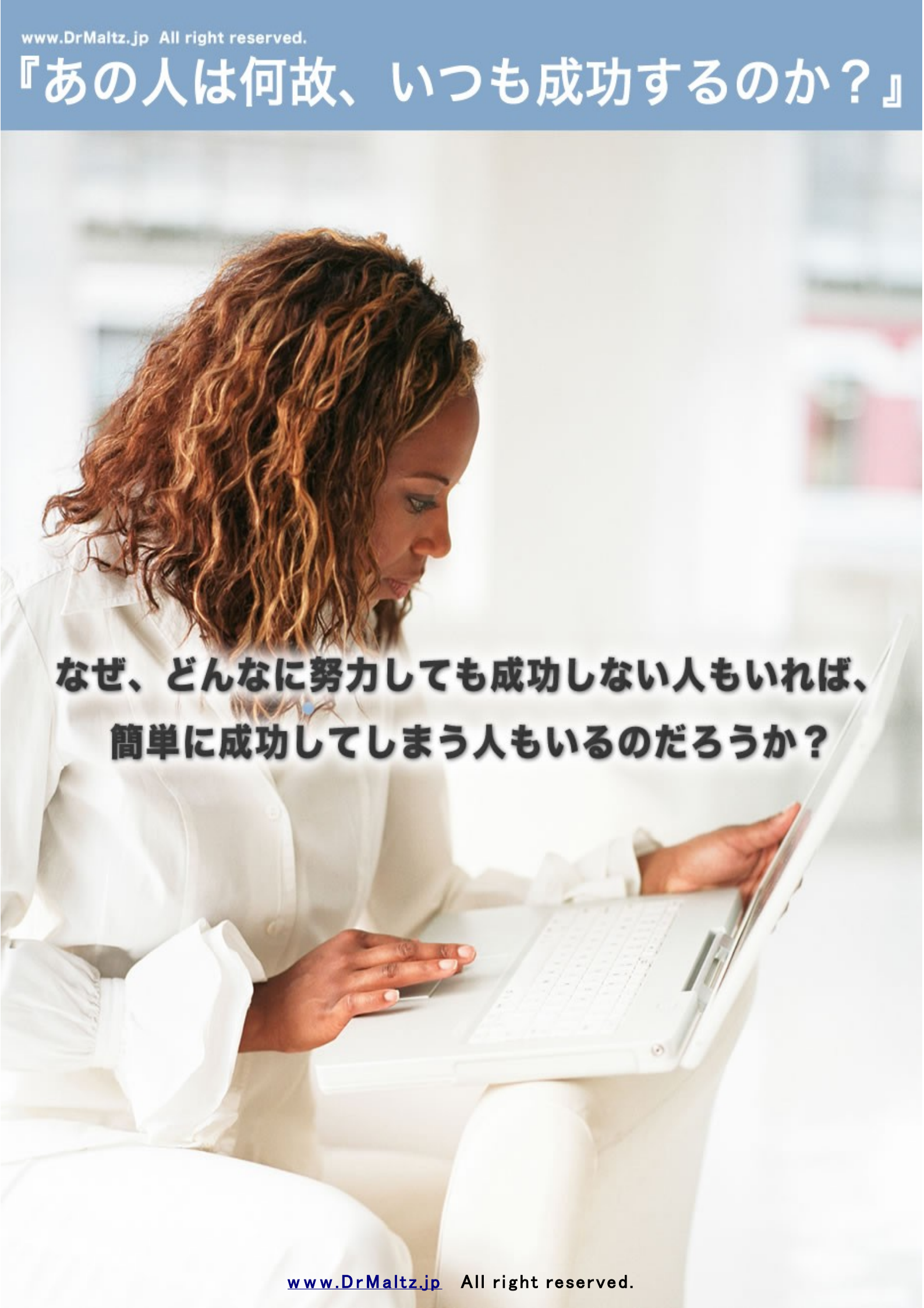


『あの人は何故、いつも成功するのか？』

A woman with voluminous, curly brown hair is shown in profile, looking down at a silver laptop. She is wearing a white, long-sleeved button-down shirt. The background is a bright, out-of-focus office or home workspace. The text is overlaid on the image in a bold, black font.

なぜ、どんなに努力しても成功しない人もいれば、簡単に成功してしまう人もいるのだろうか？

Stage 1

「なぜ、どんなに努力しても成功しない人もいれば、簡単に成功してしまう人もいるのだろうか？」

この疑問は歴史上、さまざまな人の頭を悩ませてきました。

この疑問を解決するための調査に一生を費やしている人もいます。

それだけ、考える価値のある課題なのかもしれません。

その結果、多くの成功本というものが発行されています。セミナーなどもたくさん開催されています。確かに彼らの言うようにプラス思考で目標を設定して、上手くいけば、

- ・ もっとビジネスで成功し、収入を上げることができるでしょう
- ・ もっといい人間関係を作り、理想の家庭や恋人を持つことができるでしょう
- ・ もっとモチベーションを高め、生き生きとした生活を送ることができるでしょう
- ・ もっとストレスのない生活をし、悩みや心配事から開放されるでしょう。

そして、なにより“幸せ”や“心の平安・落ち着き”を保ちながら人生を送ることができるでしょう。

しかし現実にはそうはならないのがほとんどじゃないでしょうか？

たいていの人がたくさんの本を読んだり、そのセミナーやプログラムに参加しても、一時的にやる気マンマン、前向きにモチベーションは上がっても、しばらくすると、また“元の自分”に戻ってしまいます。

そして、理想の自分と現在の自分のギャップに苦しみ、最終的に、『なんて自分はダメなんだ…』と自己嫌悪してしまう人までいます。

しかし、それは、あなたが悪いわけではありません。

確かに、あなたが今まで本やセミナーで聞いてきた事、あるいは成功している人から直接教わった方法や考え方などは本当の事です。本当に役に立つことです。彼らがウソをついているわけではありません。

しかし、何故それがあなたにとって上手く行かないかと言うと、そのような考え方、方法などを使う前にもっともっと大切なある決定的な事が欠けていたからなんです。

一体何が欠けていたのか？

それが、僕がこの本を書いた目的です。このレポートではその“ある事実”を具体的にあなたにお伝えします。

断言してもいいです。

このポイントをおさえれば、あなたのやる事は仕事だろうがプライベートだろうが、なにかもが、今までとは比べ物にならないくらい上手くいくようになります。

あなたが今まで本で読んできた事、成功している先輩などから教わった事すべてが、**実際に効果を発揮するようになります**。あなたの人生をよりよくする効果を発揮します。

ただ、自分とは関係ないと思っているだけです…。

なんと言ってもこの“あるポイント”を発見したのは世界的に有名な形成外科医だったので
す。そしてこの発見は心理学上、今世紀最大の発見と言われています。

何故、形成外科医がこのような心理学の分野に深く入っていったのか？とても興味があ
るところですが、前置きはこの辺にして、それでは、話をすすめましょう。

きっかけ

こんにちは。

僕の名前は小川忠洋。ダイレクトマーケティング関連の書籍をアメリカから持ってきて日本で販売する仕事をしています。また、その知識を生かして小規模の起業家に、どうやったらもっとお客を増やして、お金を稼げるかというようなコンサルティングなどもしています。

30歳で、多くの人が僕のことを成功してお金持ちだと思っています。実際は、僕はみんなが思うほどそんなにお金を持っているわけでは、ありませんが、困る事もありません。そんな事よりなにより、今、僕は、大好きな彼女と、友達、それから家族に恵まれて、とても幸せな時間を毎日過ごしています。

今日、あなたに話すことは、“どうやってもっとお金を稼ぐか？”というような話ではありません。はい。違います。多分、今日話すことは、あなたが起業家やセールスマンだったら、あなたの収入をもっと増やすでしょう。しかし、今日話す事は、あなたにとってもっとも価値のあることです。

ただ、僕自身もはじめから、今のように幸せな生活を送っていたわけではありません。4・5年前までは僕は不幸のどん底でした。仕事はさんざんで、お金を稼ぐことなんて全くできてなかったし、毎日が、心配事だらけでした。毎晩ベッドに入っては来月の収入が足りるかどうかだけを心配して、なかなか眠りにつけません。

だから、眠れるように、毎晩、TV やラジオをつけっぱなしにして、余計な事を考えないようにして眠ったものです。そして、孤独で、親にも恥ずかしくて会うことを避けていました。（男ならこの気持ちはわかるでしょう）そして友達は、僕のそんな状況に同情してくれたもんです。毎日がストレスの山でした。

しかし、僕は偶然にも“ある事実”を知ったおかげで、この状況から脱することができました。僕がこの“ある事実”を知ったきっかけは3年くらい前の事です。

僕は当時やっていたビジネスをもっと上手く行かせようと、セールスやマーケティングの勉強をしていました。“世界の億万長者メーカー”として有名な、ダンケネディと言う人からダイレクトレスポンスマーケティングやコピーライティングなどを勉強していました。

しかし、彼のどの商品やどの本、どのセミナーに行っても必ず出てくる、ある言葉がありました。それがDrモルツの“サイコ・サイバネティクス”です。

“サイコ・サイバネティクス”は名前の通り、日本人の僕にとっては意味が分かりません。なので、『これは一体何のことを言っているだろう？』『ビジネスと関係あるのかなー？』と思っていました。あまりにもダン・ケネディがその話ばかりするので、ケネディの話を理解するためにもその商品を買って、見てみようと思いました。

それが僕がDrモルツと、“サイコ・サイバネティクス”と出会った最初のきっかけで、そして、僕の人生が大きく変わった最初の日だったのです。

僕は起業家です。あなた同様、とても向上心が強いです。

なので、成功本の類はありとあらゆる本を読み尽くしています。ナポレオンヒルからマーフィー、SMI、本田健、ジェームズスキナー、7つの習慣、、それからあなたの知らないようなマイナーなものまで。10年前に80万円以上もするナポレオンヒルのプログラムをローンで購入した事さえあります。

しかし、僕は成功していませんでした。それどころか、貧乏で不幸のどん底でした。どんな教材を手に入れても一時的にモチベーションが高まる事はあってもそれが長続きすることはありませんでした。

成功者と同じ知識、同じような事をしてるのに何でなんだろう？前向きな気持ちでいればいつか、僕も成功するんだらうか？とっていました。

しかしそれは間違いでした。

そして、Drモルツのサイコ・サイバネティクスに出会って初めて、その理由がわかりました。成功者と同じようなことが僕には効果を発揮しなかった理由が。

Drモルツの“サイコ・サイバネティクス”は完全に僕の考えを変えてしまいました。それは今までのように一時的にモチベーションが上がったり、一時的に生活が変わったりするものではありませんでした。自分自身が、内側から、変わったのです。

彼の教えの通りに少しずつやっていったら、ビジネスはあっという間に成長し、今いる業界に参入してもほんの10ヶ月足らずで日本でトップクラスになる事もできました。

僕は成功しました。収入が10倍以上になっただけでなく、同時にストレスや心配事から開放されて幸せになりました。理想の恋人や理想のライフスタイルを手に入れました。

きっとあなたは僕が仕事で成功するのに、『メチャメチャ一生懸命やった』とか『苦労して這い上がった』『寝る間も惜しんで仕事した』と思っているかもしれませんが。

全く違います。

そんなことは僕の経験とは、ほど遠いです。

これが、Drモルツと出会って変化した大きなポイントです。“ある事実”を知って、自分のビジネスに応用してから、僕はスイスイ成功しました。ほとんど何のストレスもなく、階段を必死で上っている人を横目にエレベータに乗って、一気に目的の階に行くような気分でした。

僕はそんなに自制心も意志も強くありません。親しい友達や彼女からは“根性ナシ”と呼ばれることが多々あります。(もちろん冗談ですが…)そして、最高の友達に囲まれ、最高の彼女に恵まれて、最高に幸せな人生を送っていると思います。

何でこんな事を言ったかという、別に自慢がしたいわけではありません。なぜこんな話をしたかといえば、僕が苦勞せず一瞬で変わったという事を伝えたかったのと、これから先読み続ければ、あなたにもそれが可能だという事を伝えたかったからです。

そして、この本を書いた理由は、まさにこの事をあなたに伝えたかったからです。僕がDrモルツの教を学んだ時は、全て英語です。だから、3年前くらいに思ったものです。これを日本に伝えるような仕事がしたいなと、こんな仕事を一生の仕事にしたいなと、大学時代からの友達と夜中まで喋っててそんな話をしていました。

あれから、3年後の今。

偶然に偶然が重なって、僕はDrモルツのサイコ・サイバネティクスのライセンスを取得しました。この素晴らしい知識を日本に伝える大役を担うことができ、そして、今日あなたに伝える事ができます。

夢がまた一つ叶いました。

次はあなたの番です。

さあ、いきましょう。

形成外科医が心理学上最大の発見をしたわけ

全てはアンナという一人の患者からスタートしました。

今から、50年以上も前の事です。当時、Drモルツは形成外科医として世界的な名声を手にしていました。

形成外科医というのは、戦争や事故などで顔にけがをした人たちを治療してもとのきれいな顔に戻してあげるとい仕事です。現代の美容のための形成外科医とはずいぶん違います。

ある日、彼の元にある若い18歳のアンナという名の女性の患者が訪れました。

彼女は、交通事故で左の頬に大きな傷を負っていました。それを見たドクターモルツは、“これくらいなら今まで何度もやった。簡単に治せるな”と思って、手術をしました。手術は成功して、彼女は元の綺麗な顔に戻ることができました。

手術後、彼女に鏡を渡し、『さあ、顔を見てごらん』すると、彼女は、

彼女『……』

何も言いません。長い沈黙が流れました。ほとんどの患者は、自分の綺麗になった顔を見て、大喜びするものです。モルツ博士は耐え切れなくなって、

モルツ博士『どう？綺麗な顔に戻ったでしょう？』

そう言うと彼女は驚いた事にこう言いました。

彼女『いいえ、治っていません。』

この答えにモルツ博士はビックリしました。手術は成功していて、彼女は完全に元の綺麗な顔に戻っていたのは間違いないのです。

モルツ博士『何を言ってるんだい？もう一度見てごらん』

彼女『いいえ、治っていません……』

モルツ博士は、彼女に手術前の写真を見せました。そして、彼女の今の顔と比べて、

モルツ博士『……ほら、見てごらん。この頬の傷がすっかり消えているじゃないか？』

すると、彼女はとうとう、こう言いました。

彼女『ええ、先生。傷が消えたのは分かります。でも、治ったという感じがまったく
ないんです。以前の私と違いがまったく感じられないんです…』

この一言が、モルツ博士の人生を形成外科医から別の世界に飛び込ませるきっかけと
なったのです。ほとんどの患者は、自分の顔が綺麗に戻れば、喜んで、自信を取り戻して、
明るくふるまうものです。しかし、彼女は違いました。

彼女を家に帰した後、モルツ博士は彼女の事が気になりになって、彼女のバックグラ
ウンドを調べてみました。すると、彼女はその事故がきっかけで大好きな婚約者が彼女
の元から去って、別の人と結婚していたという事実が分かったのです。

この事が彼女に“自分を責める気持ち”と“ボーイフレンドに対する怒り”の感情を
植えつけていたのです。だから、顔が綺麗に元に戻っても、その気持ちが元に戻るこ
とはありませんでした。

そして、モルツ博士は彼女に

『何を気にしているだい？自分がしてもいない事で自分を責める必要なんてない。彼は
逃げたかもしれないけど、君は逃げなかったじゃないか！それなのにどうして他人の行
動で、自分を責めなくちゃならないんだい？』

彼女はモルツ博士の言いたい事を理解したらしく、うなずいて診療所を去りました。それから、1年後、彼女はとても幸せそうな顔で診療所を訪ねて、新しい婚約指輪を見せてくれました。別の人と結婚する事になったのです。

そして、モルツ博士は、この事を研究して重要な事実を発見したんです。人間には外面的な顔ともう一つ、自分の心の中にある内面的な顔を持っているという事実には…。

つまり、自分で自分の事をどう考えているか？というセルフイメージとうものを発見したのです。

そして、こう考えました。

『外面的な顔を治療する必要のある人は、全人口の1%以下に過ぎない。しかし、残りの99%の人が内面的な顔(セルフイメージ)に“傷”を持っている。そして、その“心の傷”がその人の人生に多大な影響を及ぼしている…』

そして、これを読んでいるあなた方や僕自身のように、顔には傷はないけれど、心に“ウミ”や“悩み”、“心配事”や“自分自身で作ってしまった”障害物”“自分で作ってしまった傷”を持っている99%の人に向けて本を書くというのはすばらしい考えではないだろうか？モルツ博士は考えました。

その本は瞬く間に世界でベストセラーになりました。ほとんどプロモーションなどせず、口コミだけで、今まで3500万部も売れてきているのです。このベストセラーがほとんどの日本人に知られていないのは、ベースとなる知識が科学からきているので翻訳するととても難しい言葉になるからです。

今世紀最大の心理学の発見

セルフイメージ

BY マックスウェルマルツ・マットフューリー

今世紀最大の心理学的発見は「セルフイメージ」の発見です。

意識しているといないとに限らず、私たちは心の中に自分自身の設計図、あるいはイメージを自分の中に持っているのです。

それは、意識して見ようとしても、あいまいではっきりしないものなのかもしれませんが。事実、意識的には全く認識できないものです。でも、それはここにあります。ですから、最後まで読んでください。

セルフイメージは

「自分自身が誰であるか？何者であるか？」

という考えやイメージです。

自分自身についての信念のほとんどは、子供時代に作られます。その時の経験、成功や失敗、屈辱、功績、他人や友達が自分に見せた反応、などから無意識的に作り上げられるものです。

私たちはこれらの経験から、「自分自身」（自身のイメージ）を心の中で構築します。自分自身の考えや信条がこのイメージに入っていけば、それは「真実」になります。

あなたはその価値に疑問をもたず、それがあたかも真実であるかのように行動します。

次の二つの重要な発見により、このセルフイメージはより良い人生を送る黄金のカギとなります。

①あなたの行動、感情、振るまい、あなたの可能性までも、すべてがこのセルフイメージとぴったり一致しています。自分の心の中にある自分自身のイメージあなたの人生における運命を決めるのです。

「自分はこういう人間である。」と思っている自分自身に

「従って行動をする」のです。

それだけでなく、どれだけ努力したとしても、それに逆らって行動することができないのです。

どれだけ自制心をもって行動したとしても、事実上それに逆らうことができないのです。

Note:

例) あなたが社交的な振る舞いを常日頃するから、自分は社交的な人間だと考えるのではありません。

逆です。

あなたが自分は社交的な人間だと考えているから、社交的な振る舞いをするのです。

自分を失敗しやすい人間だと位置づけているような人は、成功しやすいチャンスが投げ込まれたとしても、失敗する傾向があります。たとえ、自分の意識では努力したとしてもです。

自分自身を不当な扱いの犠牲になるものだと位置づけているような人、つまり被害を受ける運命にあった人は決まって、自分の考えを身をもって実証する状況に陥ってしまいます。（このような被害妄想を持った人をあなたも、たくさん見たことがあるでしょう。）

セルフイメージは、あなたの全人格や行動、振舞い、そして環境さえもが構築される「根拠」であり、基礎、そして基盤なのです。

セルフイメージ > 行動

行動 > セルフイメージ

行動からセルフイメージが生まれるのではなく、
セルフイメージから行動が生まれる

こういう理由で、私たちの経験が、自分たちのセルフイメージを確かめたり、強化しているようであり、場合に応じて、悪循環や好循環が生じます。

たとえば、自分を劣等生だと思っている少年や、数学が苦手でしかたがないという少年は、決まって彼らの成績表がそれを物語ります。

そうして、彼らは「証拠」を持ってしまうのです。

また、自分は誰にも好かれない人間だというセルフイメージを持っている少女は、もちろん、学校のフォークダンスなどで疎外されます。

実際、彼女自身が、拒否される事態を招いているのです。彼女の悲しげな表現、卑屈な態度、気に入られるかどうかを過度に心配する行為。または、人に対する無意識の敵対心が、人々を遠ざけるかのように、彼女の行動全てに立ちふさがるのです。

この客観的な「証拠」のせいで、自分の抱える問題が自分のセルフイメージや自分自身の評価の中に存在するのだ、と思いつくこと人はめったにいません。

ある生徒に、彼が数学を嫌いだと「思い込んで」いるだけだ、と話してあげても、彼はあなたが正気か怪しむでしょう。

彼は何回もやってみて、それでも成績表が数学嫌いを物語っているのですから。

セールスマンには、一定の数値以上は稼げないというのは、自分の考え方にすぎないと言ってあげると、彼は空白の契約書をもってきて、あなたが間違っていることを証明するでしょう。

かれは自分がどれだけ一生懸命やってみて失敗したかを十分すぎるほどよく分かっています。しかし、のちほどご覧にいれますが、生徒の成績とセールスマンの営業成績に奇跡的な変化が起きる時があります。

Note:

通常、私たちは自分のセルフイメージを確認することなどありません。しかし、それがもたらした行動や経験は目に見えます。だから、行動や経験から“自分自身はこういう人間だ”というイメージを強化します。

—それは、彼らが説得をうけいれて自分のセルフイメージを変えたときでした。

②セルフイメージは変えられます。

セルフイメージを変えて新しい人生を歩むのに若すぎるとか年をとりすぎているとかは関係ありません。過去の多くのケースが示しています。

自分の癖や性格や生活習慣を変えることが難しいと思われる理由は、これまでのほとんどの努力が、いわば、自分の内側よりもむしろ直接外側に向かっていたということにあるのです。

多くの患者が次のように言っていました。「もし”プラス思考”のことを言っているのなら、私はかつてやってみましたが、効果はありませんでした。」

しかし、彼らにちょっと質問をしてみると、一人一人が「プラス思考」をやってみたのは、特定の外的環境や、特定の性格上の欠点に対して用いようとしたという事実がわかります。

（例えば、「いつか就職しよう」「将来はもっと落ち着いてリラックスできるだろう」「このベンチャー事業は私にとって正しいと判明するだろう」など）

しかし彼らはこれらの変化をなしとげようとする「自分自身」についての考えを改めようとは決して思わないでしょう。

何故プラス思考は機能しない？

①セルフイメージ

②考え・行動

③結果・経験

プラス思考が効果を発揮しなかった理由は、上記の②の部分にだけフォーカスしているから。

- ②だけを変えようとする、
- ①との不調和が広がる

キリストは古いワインの入っているカップへ新しいワインを注ぐことの愚かしさを説いています。

「プラス思考」は従来のセルフイメージへのつぎはぎや、添え木として使うのでは、効果現れません。実際、あなたが自身について否定的な概念を持ち続ける限り、ある状況についてだけ、肯定的に考えることは事実上不可能なのです。

また、多くの実験から分かった事は、

**一度、セルフイメージを変えれば、新しいセルフイメージに
ぴったり合う事が、簡単に成し遂げられる**

ということです。

この事にかんする実験で最も信頼できるのは後述のセルフイメージ心理学の先駆者であるプレスコット・レッキーという人物が導入したものです。

レッキーは人格を「考えかたのシステム・考え方の習慣（system of ideas）」にとらえ、この二つは同じものでなければならぬと考えました。

**考え方のシステム
＝考え方の習慣
＝あなた自身**

“考え方のシステム”と合わない考えは排除され、信用されず、また、それに基づいて行動をとられることもありません。システムと合うと思われる考えは受け入れられるということです。

考えの方のシステムの核心は、個々人がもつ「理想的な自分」、「セルフイメージ」、または自分は何者であるという考えが、すべてを構築する基本となっているということです。レッキーは学校の教師で、その理論を何千人もの生徒に試す機会がありました。

レッキーは、もし生徒が自分である科目が苦手だと思っている場合、それを習得することが彼の「考え方のシステム」に合わないものだからだといいます。

この生徒のもつセルフイメージ、（それがあある科目が苦手だと考える）を変えることができれば、この生徒の科目に対する取り組みはその変化といっしょに変化するのだと、レッキーは考えました。

もし、生徒が自分自身の定義を
変えるように導かれれば、彼の学
習の能力もまた変化するので

Note:

この事から、“何かを苦手だ”と自分で思いこむこと、あるいは他の誰かに思い込ませる事は非常に危険であることがわかる。

このことは事例となって証明されました。100語中55語のスペルを間違え、あまりにも多くの科目を落としてしまったので、一年留年してしまった、ある生徒は、翌年平均で91点をとるようになり、学校内でもっともスペルが得意になりました。

成績が低くて、専門学校を中退した少年はハーバード大学などに並ぶ超一流のコロンビア大学に入学し、そこで成績トップになりました。ラテン語を4回落とした女子学生はスクールカウンセラーに3回相談に行ったあと、84点という成績になりました。英語の才能が全くないと言われた少年は翌年、とある文芸賞で選外佳作と勝ち取りました。

これらの生徒たちが抱える問題は、頭が悪いとか、才能がないということではなかったのです。問題は、不適正なセルフイメージだったのです。(例えば、「私には数学的センスはない」、「私は生まれつきスペルが苦手だ」など)

彼らは“自分の間違い”と“失敗そのもの”を「同一視」しているのです。「テストに落第した」と言わずに、「私は失敗した」とか「科目を落としてしまった」と言わずに「私は落第した」と言ってしまうのです。

**失敗そのもの
≠
失敗した自分**

レッキーはまた、爪を噛む癖やどもり癖のある生徒にその癖をやめさせるためにも同じ方法を用いました。

私のファイルには、こういった過去のケースが収められています。内気であまりにも見知らぬ人を恐れるため、めったに家の外へ出なかった男性が演説家としての人生を送っています。

セールスには向いていないと思っていたため、常に辞表を用意していたセールスマンは6ヶ月後に100人のセールスマンの中でトップになっていました。

週一回の説教を準備するのにプレッシャーを感じるため、やめようと思っていた牧師は、いまでは週一回の説教に加えて週平均三回のスピーチを行うようになりました。

形成外科医がどのようにして、セルフイメージ心理学に興味を持つようになったか

形成外科と心理学の間には、全く関連性がないように思われます。

しかし、「セルフイメージ」の存在にヒントをくれたのは形成外科医の仕事そのものでした。そして、それが、心理学上もっとも重要な知識へとつながったのです。

何年もまえに初めて形成外科医としての実習をはじめたころ、顔の傷が改善されたときにしばしば、性格や人格が劇的かつ突然に変化することに驚かされたのです。

多くの事例から、外見のイメージの変化が全く新しい人間を作るように思われました。ケースを重ねるごとに、私の手の中のメスは患者の外見だけでなく、人生全てをも変えてしまう魔法の杖となっていきました。

内気で意気地のない人は大胆で勇気のある人になりました。「のろま」で「ばか」と言われた青年が、機敏で聡明な青年にかわり、彼は重要な分野で重要な役職につき続けました。

いままでやってきたような仕事の運び方が出来なくなり自己の信念を失ったセールスマンは、自信感の見本のような人物になりました。

たぶん一番驚くべき実例は、「札付きのワル」が、決して自分を変えようという意思をみせなかった常習犯から、ほとんど一夜にして模範囚になり、仮釈放を認められ、社会で責任のある役割を引き受けたことでしょう。

セルフイメージ—本当の秘密

本当の意味で「生きる」、つまり、合理的で満足のいく人生を見つけるためには、あなたが人生で共に生きていく適正で現実的なセルフイメージをもたなくてはならないのです。あなたは「あなた自身」に受け入れられるような自分を見つけなければなりません。

あなたは、自分が信頼でき、確信のもてる自分自身を持たなくてはなりません。あなたは自分が恥じないような自分になれなくてはなりませんし、

隠したりフタをしたりするのではなく、心おきなく

クリエイティブに表現できるものを持たなくてはなりません。

あなたは現実世界できちんとした役割を果たせるように現実に即した自分自身をもたなくてはなりません。

あなたは自分自身（強さも弱さも含めて）を知り、どちらにも正直でなければなりません。

あなたのセルフイメージはあなた以上でも以下でもなく、あなたに一番近い適正なものでなければなりません。

新しい仕事

15年ほど前から、私は確信しはじめました。形成外科を訪ねる人々は顔や体の傷を治す手術以上のことを必要とし、そのうちの何人かは傷を治す手術をまったく必要としていないということ。

もし、私が彼らを単に患者として扱ったら、単に、鼻、耳、口、腕、脚などのようにパーツでみるのではなく、一人の人間としてみようとするならば、何か形成外科以上のことをしてあげれる立場につく必要がありました。

精神的な意味での美容整形や、心の傷を取りのぞく方法や、肉体的な外見と同様に、考えや態度を変える方法を教えてあげる必要がありました。

この研究は最もやりがいのある研究でした。

今日、私たち一人一人が心の奥底で本当に望んでいるのは、より良い人生であると、いままでよりも確信を持つようになりました。

現代におけるほとんどの人は、顔に傷など負っていない。しかし、ほとんどの人が同時に、心に傷を負っている。そしてそのほとんどの傷は取り消す事が可能で、そもそも不必要なものである。その傷がなくなったとき、より楽に成功し、より豊かで幸せな人生を送ることができる。

幸せ、成功、こころの平和、あなたが究極的に良いと思う概念すべては、より良い人生の要素として経験しているのです。

私たちが、幸福、自信感、成功の開放的な感動を経験する時、私たちはより良い人生を楽しんでいるのです。

私たちが自分の可能性や、フラストレーションや天から与えられた才能を抑制したり、不安、おそれ、自責の念、自己嫌悪を感じさせたりするということは、私たちは事実上、持てる人生の力を阻止し、天がくれた贈り物に背を向けることです。人生の贈り物を否定し続けるということは、死を歓迎することです。

しかしながら、その作業をたった一人ですることはないと、私は信じていますし、多くの患者がその事実を確認してきました。

私たちには「人生の直観」というものがあり、それは、健康、幸福、そしてあなたのためにより良い人生を作る全ての事柄に永遠に働きかけるものです。私がクリエイティブ・メカニズムと呼ぶもの、正しく言えば、それぞれの人間に構築された「成功のメカニズム」を通して、この「人生の直観」はあなたに働きかけます。

潜在意識の新たな科学的着眼点

「サイバネティクス」と言うあたらしい科学によって、私たちは、「潜在意識」と言われるものは、「意識」では全くなく、目標達成のために努力をするメカニズムで、脳や神経組織からなり、意識によって使われたり方向付けをされたりする「オートパイロット装置」である、という確信的な証拠を得ました。

Cybernetics

サイバネティクスとは、ロボット工学の専門用語で、簡単に言うと動く目標に向かって方向を修正しながら、目標を達成する事。誘導ミサイルをイメージするとわかりやすい。

最新の心理学では、人は二つの「意識」を持っているのではなく、**自動的に目標を達成するロボットと、それを運転する意識**を持っているのであるという説です。

基本的に、この頭の中にあるロボットには、与えられた目標やターゲットに向かって自動的に修正を繰り返しそれに向かって強烈に推進する自動ナビゲーション・システムと同じような機能がありますが、人間が設計してきた人工頭脳や誘導ミサイルよりずっと不思議で複雑なものです。

あなたの中にあるロボットは機械的なものです。いい悪いの判断はありません。このロボットは自動的かつ機械的に、あなた自身が設定した目標によって、成功と幸福、または不幸と失敗、へとあなたをたどり着かせます。

意識 = 運転手

無意識

⇒サイバネティクス

⇒誘導ミサイル

⇒ロボット

「成功目標」と共にあれば、「成功のメカニズム」として機能し、「否定的な目標」と共にあれば。ただただ機械的にそして忠実に「失敗のメカニズム」として機能します。

実際のロボットのように、明確な目標、標的、または「問題」がなくてはなりません。

私たち自身のロボットが達成しようとする目標は心のイメージで、心の絵で、これらは自分で想像を駆使して創り上げるのです。

KEY:
誘導ミサイルには
ターゲットが必要

キーとなる目標のイメージは私たちのセルフイメージです。

セルフイメージはどんな目標であってもあなたが達成可能な範囲を作ります。制限を作るのです。

実際のロボットのように、私たちのロボットは、私たちが中に入れる情報やデータ（自分の考え、信条、解釈など）に従って働きます。私たちの態度と状況の解釈をとおして、起こる問題を「描きだす」のです。

もしあなたのロボットに、あなたが無価値で、劣っていて、能力がなく、役に立たない（否定的なセルフイメージ）といった情報やデータを投入すれば、ほかのデータと同じように処理され、「答え」を提供します。客観的な経験という形にかえて。

実際のロボットと同様、私たちのロボットは、現行の問題を解決したり、現行の状況に対応したりするために、蓄積された情報や「メモリー（記憶）」を利用します。

ターゲット＝セルフイメージ

より良い人生を手に入れるためにあなたが取るべきプログラムは、まず第一に、このロボット、またはあなたの中にある自動ガイド・システムについて学ぶことと、このシステムを失敗メカニズムではなく成功メカニズムとして使う方法について学ぶことで成り立ちます。

その方法は、学習し、実践し、経験し、新たな考え方をし、想像し、記憶し、そして、次の行動によって成り立ちます。

1. 適正で現実的なセルフイメージを育てる
2. 目標達成の際に成功と幸福をもたらすように、あなたのロボットを使う。

想像的な心のイメージを描くことに尽きます。

あなたのイマジネーションをとおしたクリエイティブな経験、そして、「実際に行動する」と「あたかもそのように行動する」とことによって新たな反応のパターンを作り出すことです。

私はしばしば自分の患者に「もしあなたが何かを思い出せるなら、心配をできるなら、あるいは、靴ひもを結べるのであれば、この方法を適用するのに何の問題もないでしょう。」と言います。理由は以下にあります。

あなたがしなければならないことは、とても単純ですが、あなたは実践してそれを「経験」しなければなりません。

クリエイティブなイメージを心に思い浮かべることは、難しいことではありません。あなたがいつもやっているように過去の一場面を思い出したり、将来の心配をしたりすることと同じなのです。

新たな行動パターンで実際に行動を起こすのは、難しいことではありません。

Note:

靴ひもを結ぶことは、何も考えずにやることができます。しかし、意識して紐の結び方を変えることもできます。

それと同じことです。毎日、以前とは違った形で靴ひもを結んでいれば、それが、あなたにとって新しいパターンになります。

何も考えずに「いつもの方法」で靴ひもを結び続けるのをやめて、毎朝新しく違ったやり方をすることを「決心して」実行することと同じことなのです。

次はどうする？

次はどうする？

どうでしたか？

そうです。つまり、どんなに便利なアイデアやツール（プラス思考・目標を紙に書く、など）を手に入れたとしても、自分が自分自身の事をどう思っているか？＝セルフイメージを変えない限りは同じ事を繰り返すのです。

『セルフイメージだの言われても、まだそれが実際に効果を発揮するか信じられない？』

と思われているかもしれません。

しかし、この本の冒頭で言ったことを思い出してください。“ある業界ではこの事実は周知のもので、極めて効率よく活用されていて、その成果をあなた自身も既に目にしている”と言いました。

その業界はどこでしょうか？

あなたが毎日見ているものです。それはスポーツ業界です。

スポーツの世界では、イメージトレーニングは当然のように行われています。何故でしょう？効果があるからです。

**世界のトップアスリートは
イメージトレーニングをする。
なぜだろう？**

シャドウボクシングは、イメージの敵を相手にボクシングの練習をします。

何故でしょう？効果があるからです。

サッカーの選手はシュートをする時に、シュートが外している自分をイメージするでしょうか？もちろん、しません。シュートが入るイメージがあるからシュートを打てるのです。

このような効果に関してはあなたも疑問や疑いを持っていないでしょう。周知の事実です。しかし、それが仕事や私生活となると、信じられない人が多いようです。

自分は年収300万円だ。

というセルフイメージを持っている人は、今現在、いくら年収だろうが、年収300万円に向かっていきます。

なぜなら、彼にとって年収600万円は、「なんか、変な感じ」「こんなにもらっていいの？」「落ち着かない」「居心地がよくない」という状態なのです。

自分は年収3000万円だ。

というセルフイメージを持っている人は、たとえ、今、職を失って無職だとしても、年収3000万円にあっという間にたどり着きます。

**今、毎月100万円
入ってきたらあなたは
どう感じるだろうか？**

もらいすぎのようで、こんな事は長くない。いずれ減ると感じる？あるいは、満足して、仕事をさぼりだす？

まだまだ全然足りないので、もっともっと仕事に精を出す？

どちらの行動も、あなた自身のセルフイメージから来ている。なので、自然とあなたの思う金額に向かっていく。

なぜなら、彼にとって年収600万円は、「とても、変な感じ」「全然、足りない」「わたしはもっとできる。」という状態だからです。

たとえ、年収300万のイメージの人に年収を5倍にするチャンスが舞い込んできたとしても、それに対してその人は『ビビッて』しまいます。あるいは、それ以上稼ぐことに罪悪感すら感じるようになります。

何故なら、それが自分のセルフイメージとあまりにもかけ離れているからです。それは、自分じゃないと、あなたの脳が常に言っているからです。

それに対して、年収3000万円のイメージの人が年収1000万円くらいだったとしましょう。

彼は決してその現状に満足しません。そして、収入を伸ばす方法を常に見つけています。意識的にも無意識的にも。24時間、彼の脳はそれを実現する方法を探すでしょう。これが自動ナビゲーションシステムです。

そして、1000万円から3000万円になるまでの仕事は、はたから見たらどんなにつらい事でもへっちゃらでできます。これは、まるで、水が高いところから低いところに流れるように流れていくのです。

はたから見ると、低いところが、高く見えるのでさっぱり訳が分からないわけです。

しかし、もう一度言いますが、その人にとっては年収3000万円が心地いいのです。
それが、その人の考える自分自身なのです。

あなたも今まで聞いた事がありますか？

お金持ちが、破産したけども、スグに元と同じくらいか、それ以上にリッチになったという話。

こんな話は例をあげればたくさんあります。

世界の不動産王、ドナルドトランプは何年か前、大富豪の地位から借金6000億円まで落ち込みました。

しかし、今現在では再び不動産王に戻りシカゴに都庁よりも大きなトランプタワーを建設して、TVのレギュラー番組まで持っています。

もちろん。

これは、トランプの不動産の知識やコネなども役立ったでしょう。（しかし、多くの人
はトランプが借金まみれになったら見放した事実も忘れないでください。）

しかし、それ以上にトランプ自信の自分は世界一の不動産王だ。

という揺るぎのないセルフイメージが彼をその場所へ突き動かしたのです。

ほどほどに不動産ビジネスをしている状態は、彼にとっては居心地の悪い状態だったのです。

水の高い所です。

世界一の不動産王こそが、彼にとっての“水の低い場所”つまり、落ち着く場所だったのです。だから、滑り落ちるように再び不動産王になりました。

これは怖い事です。

つまり、年収なんかだったらいいんですが、

『自分は不幸な人間だ』

『自分は不公平な社会の被害者だ』

『自分は恋人に恵まれていない』

とかいうセルフイメージを持っている人がたくさんいるからです。

そう。

そういう人は今、実際に幸せだったとしても“不幸”を目指して滑り落ちるように不幸になってしまいます。

たとえば、結婚を目前にひかえた女性でも、毎日、将来の事を心配して、心配事や不安で頭がいっぱいになってしまいます。はたから見れば、婚約指輪をつけて幸せの絶頂にいるはずなのに・・・。

たとえば、どんなに儲かっても、将来の不安が消えない社長もいます。自分は苦労しても報われない貧乏人だ、というセルフイメージを持っているので、お金は減っていくものだと思っているからです。

しかし、ここで最高にいいニュースがあります。

それはつまり、

『セルフイメージは自分の力で変えることができる』

という事です。

つまり、自分がなりたい自分のセルフイメージを作る事ができます。そして、まるでそれに滑り落ちるかのように、スイスイと向かっていくことができるのです。

これは、パソコンに例えると、ウィンドウズのようなものです。今出ている最新のソフトをウィンドウズ95の上で使おうとしても、それは機能しません。

まず、あなたがやるべきことはウィンドウズ95を最新版にインストールしなおす事です。

これが、今までプラス思考や目標設定などが役に立たなかった理由です。

つまり、“プラス思考”などという優れたソフトを手に入れてもOSであるあなた自身のセルフイメージとが古いので、動かないんです。ムリに動かしても、パソコンはフリーズして止まってしまいます。

それが、本やセミナーなどに参加して一時的に“超プラス思考”になった人が、しばらくすると薬が切れたようにモチベーションが低くなって、理想の自分と現状の自分のギャップに苦しんで落ち込んでいく理由です。

その人はきっと、『これじゃダメだ』と思って、また、新しい本を読んだりセミナーに参加したり、プログラムを買ったり、成功している先輩に相談したりするでしょう。

しかし、自分自身（ウィンドウズ95）を入れ替えない限り、どんなに素晴らしいアイデア、考え方、方法、などを学んだとしても、動かないのです。オーバーヒートするだけです。

つまり、あなたがやるべきことは自分自身のセルフイメージ（ウィンドウズ95）を新しいものにインストールしなおすべきなのです。その上で、今まで教わった、役立つ考え方や方法が、最大限の効果を発揮するのです！

* *

これは昔の話ですが、僕の知り合いで、そういった自己啓発セミナーのようなものにたくさん参加して、一時的にモチベーションが上がっても現状は悪くなる一方という人がいました。彼女は最終的に自殺してしまいました。理想の自分と現状の自分とのギャップに耐えられなくなったのです。自殺までいくのは稀な例ですが、それが原因で鬱（ウツ）になる人はたくさんいます。

最新版

“YOU(自分) ver2.0”

リリース!!!

最新版“YOU (自分) ver2.0” リリース！

さあ、これを読んだ今日からあなたは自分の理想となるセルフイメージを作り上げていかなければなりません。それは、一生かけてやる仕事です。

- ・ 今日から、あなたの新しいセルフイメージの第一歩です。
- ・ 今日から、あなたは自分のなりたい人間にスイスイと向かっていくことができます。
- ・ 今日から、あなたは幸せに成功していく日です。
- ・ 今日から、あなたの新しい人生の第一歩です。

明日からではありません。今晚からではありません。

今日から、この瞬間から、あなたの人生は変わっているのです。新しいアイデアがあなたの頭の中に入った今。全てのものは全く違って見えます。あなたの人生にこれから起きる出来事全てが違って見えます。

ほとんどの人はセルフイメージというものを意識した事はありません。しかし、今、あなたはハッキリと自分のセルフイメージを意識できるはずです。そして今日から毎日、それを意識して見ることができるはずです。そして、見えると言うことは、それを自分の望むものに変えることができます。

あなたは、もう既に、この本を読む15分前とは全く違う人間になっているはずです！

あなたは、自分の中にあるとても便利なロボットの事について知りました。あとはそれを起動させるだけです。あなたの理想に向かって。

プラス思考になれば成功する。これは子供の考えです。プラス思考で行動すれば成功します。しかしほとんどの人はこの行動ができません。なぜなら、それは今までの自分とあまりに不釣り合いだからです。

セルフイメージを変えれば、簡単に成功する。これも子供の考えることです。イメージを変えただけでは、簡単には成功しません。

しかし、セルフイメージを新しいものに変えたらそれに向かって行動するのがとても楽になります。だから、簡単に成功するのです。

だから、あなたは動き出す必要があります。

実際に行動して、それを経験しなければいけません。

人間には誰も、自分の人生をコントロールする能力があります。あなたは、そのコントローラーをあなた自身が持っていることに気付きました。さあ、あたらしい人生を送りましょう！「自分 ver,2.0」のリリースです。

あなたの感想・ストーリーをシェアして スクリーンセーバーを無料ダウンロードしよう。

レポートを読んでいただきありがとうございます。

いかがでしたか？あなた自身にも心当たりがあるような事がいくつかあったんじゃないでしょうか？あるいはあなたの周りの人たちの出来事でも。

もし、なにかそんな話があるのであれば、是非シェアしてください。

もし、そんな話がまだないのであれば、レポートの感想を書いてください。

感想・ストーリーをシェアしてくれた方には漏れなく、サイコサイバネティクス・スクリーンセーバーをプレゼントしています。

人間どんなに素晴らしいことを学んでも忘れてしまう生き物です。しかし、このスクリーンセーバーがあれば、あなたがDrモルツから学んだ今日の気づきを忘れないでおくことができます。

www.DrMaltz.jp/html/contest.html

友達を救おう

このレポートを読んだあなたは、「自分が自分自身の事をいかに評価するか？」というセルフイメージが人生に大きな影響を及ぼすと言うことを知りました。そして、きっとこれからセルフイメージを改善して、いままで思っていたよりずっと楽に、あらゆる面で成功していくことでしょう。

しかし、世の中にはたくさんの、この事実を知らずに毎日を過ごしている人たちがいます。彼らは自制心をもって目標を達成しようとしたり、意志の力でストレスを克服しようと毎日闘っています。

意志の力や自制心は、継続することがとても難しく、それによって目標を達成できることはまれです。真面目な人ほど、自己啓発の本をよんだりセミナーに参加したりして高い理想をもって、現実とのギャップにフラストレーションを抱えたりします。

しかし、彼らの目標や理想は、セルフイメージを改善することで、努力しなくても（実際には努力していても、努力しているように感じない）簡単に達成することができます。

もちろん、このレポートを読んだ瞬間に人生が変わるわけではありません。

しかし、「知識は力」です。もし、その人がセルフイメージの存在に気づき、それを改善する努力を繰り返せばその人の世界は変わります。しかし、その存在に気づかなければ、同じことを繰り返してしまいます。それが大きな違いです。

なので、このレポートをあなたの周りの人に渡してあげてください。PDFファイルをそのまま転送してもらっても結構ですし、このWEBサイトを教えてもらってもOKです。

<http://www.DrMaltz.jp>

ドクターモルツを生で見よう！

Drモルツは1960年の60歳の時にサイコ・サイバネティクスを発表しました。その著作は、すぐにベストセラーとなり、大きなキャンペーンもせず、ほとんど口コミだけで、現在までに3500万部以上売れ続けているベストセラーとなりました。

彼は1975年に76歳でその生涯を閉じました。なので彼の声を直接聞くことはできませんが、しかし、好運にも彼の著作を管理するPsycho-Cybernetics財団には、生前の彼のスピーチやTV出演、ワークショップなどのコンテンツが保管されていました。

そして、今日。日本語版の字幕をつけた映像をサイトで見ることができます。こちらをクリックしてDrモルツのスピーチを見てください。

www.DrMaltz.jp/

この無料DVDを見る前に、危険なプラス思考は止めてください！



無料DVDが明かす

プラス思考・努力・忍耐を信じない金メダリスト・億万長者の企業家、トップ営業マンが使っている

50のメンタル・エクササイズ

もし、あなたがこの無料DVDを見て、毎日15分の少し何かをイメージすることができれば・・・

あなたの許可をいただいて、3日以内に、あなたに無料でこの3500万部のベストセラー作家であるドクターモルツの40年前に撮影された貴重なDVDを送ります。

ドクターモルツ・ライブ！ 自然に成功する方法

http://www.dr maltz.jp/html/success_group.html